

令和4年6月吉日

## 会員の社会貢献活動（Social Action Program）を 登録・公開するシステムの運用を始めました

一般社団法人東京都建築士事務所協会

会長 児玉 耕二

同副会長 社会貢献活動推進 WG 主査 富樫 亮

### 社会貢献活動を広くアピールしましょう

日頃は協会の活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

会員の皆様は、日常の建築士としての生業に加え、様々な社会貢献活動にも従事されている事と思いますが、このたび、協会では社会貢献活動（SAP）の登録・公開システムの運用を開始することといたしました。皆様が行っている多様な活動を広く一般社会へアピールすることにより、建築士に対する認知度と社会的地位の向上を図りたいと思います。

### 協会 Web サイトに登録・公開システムを設置しました

協会の Web サイトに登録・公開システムを設置いたしましたので、これから社会貢献活動に従事した際は、ぜひ申請していただくようお願いいたします。

協会内で会員の皆さんの活動状況を共有し、貢献の大きかった会員の表彰などを通じて、建築士の社会貢献活動を一層推進する役割も担っていますので積極にご活用ください。



会員による社会貢献活動：耐震相談会や建築ふれあいフェア

## 1. システムの概要

- ① 会員が従事した社会貢献活動を協会の Web サイトを介して申請し、支部長による確認、審査委員会による審査、理事会報告を経て、Web サイト上で一般に公開する。
- ② 活動の貢献度合を客観的に評価するため、活動内容を分類・整理し、評価基準を定める。(別添資料：「社会貢献活動 (SAP) の分類」参照)
- ③ 申請は会員事務所単位で行い、申請者は会員本人、専任者、及びその委任を受けた会員事務所の所属職員に限る。
- ④ 申請から登録・公表までのフロー

申請者      事務局      支部長      審査委員会\*      理事会      協会 Web サイト

申請 → 受理・形式審査 → 確認 → 審査 → 報告 → 申請者へ通知・登録公表

\* 審査委員会は当面 WG メンバーが兼務するが、専任化も想定する。

## 2. 社会貢献活動ポイントの評価基準

活動に従事した実時間（1 時間単位に四捨五入）に評価の重み付け係数を乗じた数を社会貢献活動ポイント（SAP(Social Action Program)ポイントと呼称）とする。

- ① 重み付け係数の基準
  - a. 行政庁要請事項・政策立案・直接市民サービス・企画立案・緊急性  
係数：2（①～④）
  - b. 各種講師派遣・協会本部支部委員会会議等・有償活動（①～④の活動を含む）  
係数：1（⑤～⑦）
- ② 報酬を伴う活動（有償活動）は原則として係数：1 とする。

## 3. 対象活動分野（活動項目と時間当たりポイント）

- ① 行政、団体等主催の各種委員会委員（係数：2）【政策立案、公益性、影響大】  
行政、団体等が主催する都市計画審議委員・景観審議委員・景観アドバイザー等の委員派遣
- ② 市民サービス等（係数：2）【市民への直接サービス】  
市民に対する建築・耐震相談等のサービス（主催者は問わない）
- ③ 応急危険度判定等（係数：2）【緊急性、公益性】  
応急危険度判定等、緊急対応の実施（依頼元を問わない）
- ④ 講習会の企画、実施（係数：2）【公益性、影響大、手間大】  
行政、団体等からの要請による講習会等の企画、開催
- ⑤ 講習会等への講師派遣（係数：1）【公益性、影響大】  
行政、団体等からの要請による講習会等への講師派遣
- ⑥ 有償契約に基づく社会貢献活動（係数：1）【有償活動】  
行政、団体等との有償契約による市民に対する建築・耐震相談等のサービス

⑦ 本部・支部役員会、委員会活動等（係数：1）【協会内部活動】

⑧ その他（係数：一）【上記以外の活動】

環境貢献活動等①～⑦以外の活動は⑧で申請する。審査委員会で活動内容を精査して承認後、その都度係数を設定する。

#### 4. 表彰等

年間の申請単位を集計し、ポイント数の最も多かった会員・支部及び、設計関連職員一人当たりのポイントが最も多かった会員、会員当たりのポイントが最も多かった支部を定時総会にて表彰し、Web サイトに公開すると共に機関紙「コア東京」に掲載する予定。表彰の基準は申請実態に合わせて適宜見直し。

以上